

2年1組 高橋 圓「メイクについて」

私は今回コスメについて紹介します。

私がコスメに興味を持ったきっかけは、ドラッグストアの試供品を試したことでした。メイクをするとノーメイクの時よりも自分がキレイに見えて、もっといろいろなコスメを試してみたいと思うようになりました。なので、コスメをめぐって楽しめる休日待ちです。わたしがいま、すごく好きなのは、自分に似合う色探しです。

デパコスなどに行く化粧品の品揃えが多くて、パッケージのデザインも可愛らしく、見ていだけでテンションが上がります。

私は普段、プチプラコスメの、キャンメイクとセザンヌというブランドをよく買っています。どちらも色の発色が可愛くて種類も豊富で価格も安いので、中高生に人気のブランドです。ドラッグストアなどで売られているので、皆さんも見かけたら手に取ってみてください。あと、いま、ブラウン系が好きな人におススメしたいのは、キャンメイクのジューシーピュアアイズの13番です。ブラウン系のアイシャドウでラメが入っていて、可愛い色になっています。ぜひ試してみてください。

メイクはファッションと一緒に、色を変えることで季節感を楽しめたり、気分を変えることができます。あと、なりたい自分に近づいた感じもしてすごく楽しいです。

肌の色が一人一人微妙に違うように、似合う色も違ってくると思いますが、みんなそれぞれ自分に似合う色に出会えたら素敵だと思います。

ぜひ皆さんもメイクや自分磨きに興味をもって、いろいろなことを試してみてください。きっと普段とは違う自分を発見できると思いますよ。

自分磨き。  
図書館の本がお手伝いしますよ。

- ・皮膚科医がすすめるおくすり朝ごはん：小林智子ワニブックス 美しい素肌は朝食からつくるべし。
- ・ノンノ：集英社メイク、ネイル、ファッション、スイーツ、女の子が欲しい旬の情報がいっぱいです。
- ・育ちのいいひとだけが知っていること：諏内えみ ダイヤモンド社  
食べ方、話し方、振る舞いと常識。内側からにじみ出る気品を目指しましょう。

2年1組 関 浩大「友だちの大切さ」

僕の好きなことは友達と他愛のない話をする事です。

友達と一緒に話をしていると楽しいですし、嫌なことも忘れることができるからです。

話をしてお互いのことを知ることもできますし、仲良くなることもあります。

だけど友達と話をしていても、嫌な気持ちになって喧嘩をしてしまうこともあります。僕は友達同士が喧嘩をして離れ離れになってしまうことが一番嫌いです。

だから僕は、相手を嫌な気持ちにさせてしまったと思ったら、早く謝るようにしています。でも、気付かなくて嫌な気持ちにさせてしまったことがあるかもしれません。

皆さんも友達と話をするときは相手を傷つけないようにしてください。

それと、友達と話ができることは幸せなことなので、友達を大切にしてください。

ぼくが最近読んでとても癒された本を紹介します。星野源のいのちの車窓からです。

いのちの車窓から：星野源 KADOKAWA

オススメポイント

どのページからも、星野源さんの優しく温かい人柄が伝わってくる本です。アーティスト仲間や、ドラマで共演した人達と良い関係が作れていてとてもいいと思いました。

2年3組 陳 秉昕 チン ビンシン「おじいさんとの思い出」

私は3年前に、中国のハルビンから、父と母と姉と私の4人で日本にやってきました。

私のおじいさんと、おばあさんはいまもハルビンで暮らしています。

私のおじいさんは昔、いろいろな仕事をしていました。漁師、調理人、家具や器械を作る仕事もしていました。料理がとても上手でたくさん作ってくれました。おもちゃも作ってくれました。

特に「こま」を作ってもらったのが一番思い出に残っています。

中国のこまはとても大きく、日本のとはめっちゃ違います。おじいさんは木で作ってくれました。おじいさんはこまを作ってくれるだけで、一緒に遊んでくれませんでした。よく回るこまだったのでとてもうれしかったです。

あと、おじいさんと一緒にやったことで楽しかったのは花火です。いつも年末と新年はおじいさんと花火をして楽しみました。ちょっと言葉では表せないくらい楽しかったです。

あと、冬に雪だるまを作るとき、シャベルで雪をたくさん運んでくれて、大きな雪だるまを作ることができました。

あと、私が夜の遅い時間にお菓子が食べたいと言うと外の店に買いに行ってくれました。

おじいさんはいつも私の望みを叶えようとしてくれました。だから私は、おじいさんにとって自分は特別な存在なんだと思っていました。姉に対するのとは違っていたからです。

私が一番心配したのは、ある日おじいさんがバイクで事故を起こして、けがをして帰ってきたときです。

窓から帰ってきたおじいさんを見ると、頭が包帯でぐるぐる巻き姿になっていました。私はそれを見てびっくりして、とても心配になり、ベッドで泣いてしまいました。怪我が治らなくて、一生障害を負ってしまうのではないかと感じてしまったからです。でも、すっかり良くなったときは、とてもうれしかったです。

おじいさんは私が悪いことをすると、お尻をたたきました。でもそれはおじいさんの躰でした。叩かれるときは怖かったですが、普段はとても優しいです。今は頭の毛が真っ白になってしまい、腰も曲がって歳を取ってしまいましたが、今でも私を守ってくれています。

中国・ハルビンのこと

ハルビンは中国 黒竜江省にあって真冬の1月は平均最低気温がマイナス18度になる酷寒の地です。

ここはかつての満州国。日本が侵略してこの地方の人々を苦しめた、日本人が忘れてはならない歴史があります。

太平洋戦争終結から40年後の1985年。ハルビンでは厳しい気候を生かして冰雪祭りが開催されました。それから毎年開催されて現在、ハルビン氷祭りは世界3大氷祭りの一つになり、世界中から多くの観光客が訪れています。そして東方のモスクワ、音楽の都と称されて、文化の香り高い近代的な都市に発展しています。

成田から飛行機で2時間40分で行けるお隣さんです。

中国・東北部が舞台の本  
大地の子：山崎豊子 上・中・下巻 文藝春秋社  
敗戦の混乱の中、旧満州で両親や妹と離れ離れになり、中国残留孤児となってしまった少年・松本勝男の波乱万丈の半生を描いた物語。

図書館係より  
母国語の中国語でなく、日本語で長い文章を書くことは、大変なことであつたと思います。  
陳君、お疲れ様でした。